

# 進路通信

第3号  
平成30年3月19日  
新座市立第二中学校  
進路指導部発行

3月15日(木)に第46回『卒業証書授与式』が終わり、318名の生徒が新座市立第二中学校を卒業していきました。ひとり一人が考え悩み選択した新しい環境で、希望に満ちて大きく成長することを楽しみにしています。

今年も二中では、1年で《中学校生活と学ぶこと》、2年で《職場体験》《上級学校調べ》、3年で《卒業生の体験に学ぶ会》、全学年対象のふれあい講演会などを通して、進路学習に取り組んできました。「進路学習で学んだこと、授業・委員会・係などの諸活動、行事などを通して学んだこと、身につけたこと、感じたこと」、また、「県公立高校や私立高校などで頻繁に行われている体験入学・説明会・見学会などへの積極的な参加や文化祭等の見学を通して、その学校の様子を自分自身の眼で見たり感じたこと」を通して、将来の目標や希望へ進んでいくために、ひとり一人がしっかり考えて三年生での進路選択をして欲しいと思います。

中学卒業後の進路は、高等学校・高等専門学校(5年制)・専修専門学校・サポート校(主に通信制高校の学習)・就職になります。高校では、国立・県公立・私立があり、授業の時間帯や形態などで全日制・定時制・通信制・単位制に分かれ、学科では普通科・総合学科・専門学科(農業・工業・商業・家庭・看護・外国語・芸術・体育・理数・福祉・人文・国際文化・生物・環境の関連学科)など多様になっています。私立高校では、普通科が特別進学コースや総合進学コース等より細分化されています。

## ◇本年度の進路選択について◇

埼玉県公立高等学校の入学選抜の学力検査においては、社会科・理科の学力検査の時間が50分、一部の高等学校において数学と英語で学校選択問題が実施されるなど制度が変わって2年目になりましたが、進路選択への全体的な取組としては、従来と大きな変化もなく無事に入試を終えることができました。本校の最終的な進路選択では、早い時期から県内私立高校への進学を希望する生徒が多く、これは県内私立高校生徒に対する県からの支援制度の充実も一つの要因と考えられます。また、入試を終えて感じることは、私立高校の推薦入試が終わってから県公立高校の入試まで期間が1ヶ月半近くありましたが、最後まで授業に集中して、受検や入学後の学習に向かって努力できた生徒が多く、落ち着いた雰囲気での学習に取り組んでいました。その結果埼玉県公立高等学校の合格割合が86.6%で進学率が55.2%という状況になりました。

本年度の埼玉県公立高校一般募集の平均倍率は1.16で、全日制的普通科1.20、専門学科1.05、総合学科1.00、定時制全体では0.53でした。また、県教育委員会の学力検査予想平均点は、計256点(国語55点、数学48点、社会55点、理科50点、英語48点)で、難易度はいずれも平年並みとしている。学校選択問題の予想平均点は数学60点、英語65点です。(3月2日の新聞発表より)

## ◇朝霞地区内の高校(全日制)の倍率

高校名	本年度	昨年度	高校名	学科	本年度	昨年度
新座	1.06	1.07	和光国際	外国語	1.59	1.51
新座柳瀬	1.06	1.05	新座 総合 技術	電子機械	1.03	0.85
朝霞	1.15	1.15		情報技術	0.85	1.00
朝霞西	1.27	1.25		デザイン	1.08	1.03
志木	1.06	1.09		総合ビジネス	0.99	0.65
和光国際	1.32	1.30		服飾デザイン	0.85	0.85
和光	0.93	1.06		食物調理	1.18	1.25

## ◇新座二中の卒業生の進路先の推移状況

	国県公立高校	県内私立高校	県外私立高校	通信制高校・専修学校等
29年度	57.2%	25.5%	13.2%	4.1%
28年度	55.8%	25.3%	14.9%	2.1%
27年度	49.7%	35.9%	11.4%	3.1%
26年度	52.1%	32.9%	12.9%	2.1%
25年度	56.8%	25.6%	15.9%	1.7%
24年度	63.8%	25.2%	8.7%	2.3%
23年度	63.5%	21.2%	11.0%	5.3%

◇本年度の卒業生の進路先高等学校一覧（3月13日現在）

(1) 国立高等学校：筑波大学大学附属駒場、筑波大学大学附属坂戸、釧路工業高等専門学校

(2) 埼玉県公立高等学校等(△5人以上、◇10人以上、○15人以上、◎20人以上の進学者がいる高校)

① 全日制・普通科：新座△、新座柳瀬○、朝霞◎、朝霞西△、志木◇、和光◇、和光国際△、ふじみ野、  
県立川越、川越女子△、川越南、川越西、川越初雁、市立川越、坂戸、坂戸西、松山女子、鳩山、所沢△、  
所沢北、所沢西、所沢中央、豊岡、南稜△、川口北、川口市立、県立浦和、浦和第一女子、浦和西、浦和北、  
市立浦和南、与野、伊奈学園総合、越谷東、越谷南、春日部東、進修館

② 全日制・専門科：和光国際・坂戸・南稜⇒外国語、川越総合⇒総合学科、市立川越⇒情報処理、  
新座総合技術⇒電子機械・情報技術・総合ビジネス・食物調理、芸術総合⇒舞台芸術、  
浦和工業・川口工業⇒機械、大宮光陵・越生⇒美術、大宮東⇒体育、

③ 特別支援学校：川越たかしな分校、入間わかさ高等、所沢おおぞら

(3) 私立高等学校全日制(△5人以上、◇10人以上、○15人以上の進学者がいる高校)

① 埼玉県内：秋草学園、浦和学院△、浦和実業学園、浦和麗明、叡明、大妻嵐山、大宮開成、川越東、  
慶應志木、埼玉平成、狭山ヶ丘、秀明英光、淑徳与野、城北埼玉、西武学園文理、西武台△、獨協埼玉、東野、  
星野△、細田学園◇、武蔵越生、山村学園△、山村国際、立教新座

② 埼玉県外：錦城、国立音楽大学付属、芝浦工業大学付属、淑徳、淑徳巣鴨、昭和鉄道、順天、成城学園、  
城西大学付属城西、女子美術大学付属、専修大学付属、創価、滝野川学園、大東文化大学第一、保善、  
中央大学付属、東京家政大学付属女子、東京女子学院、日本体育大学荏原、日本大学第二、堀越、武蔵野、  
日本大学豊山、日本大学豊山女子、法政大学、武蔵野女子学院、武蔵野大学附属千代田、明星学園、  
早稲田大学高等学院、慶應義塾

(4) 私立通信制高校：大川学園、松栄学園、つくば松実、NHK学園、立志舎、クラーク記念国際、鹿島学園、N

☆平成31年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の主な日程（現在の中学二年生）

◇一般募集日程 2月18日(月)・19日(火)：出願期間

21日(木)・22日(金)：志願先変更期間期間

28日(木)：学力検査(5教科)

3月 1日(金)：実技検査(芸術・体育系学科等)・面接(一部の高校)

5日(火)：※追検査

8日(金)：入学許可候補者発表

※欠員補充を実施する場合は、日程及び内容は実施する高等学校において定めることとなっています。

※平成31年度の入試より、急病(インフルエンザ等)などやむを得ない事情により、学力検査を受検できなかった志願者に配慮し追検査が、新たに実施されることになりました。

☆平成30年度埼玉県公立高等学校入学者選抜について（抜粋）

①・学力検査は、1教科100点で5教科(国・数・社・理・英)の500点満点で実施。

・調査書の各学年の教科評定の割合は、各高校で定め教科評定を得点化。

・調査書記載内容(評定以外の部分)と面接や適性検査は、各高校の選抜基準に基づき得点化。

※学校選択問題は20校、面接は72校、実技検査は10校で実施されました。

②各高校の選抜基準により第一次選抜・第二次選抜・第三次選抜により入学許可候補者を選抜する。

※第三次選考を行わない高校もあります。

③2次募集は実施しない。→定員に満たない高校は、欠員補充を実施する。

◇二中の生徒が受検することが多い県公立高等学校について

①学校選択問題実施校(数学と英語)：和光国際、県立川越、川越女子、川越南、所沢、所沢北、県立浦和、  
浦和西、浦和第一女子、大宮、蕨、川口北、市立浦和などの全日制課程

②面接実施校：川越総合、志木、新座、新座総合技術、新座柳瀬、ふじみ野、和光、市立川越、朝霞(定時制)等

③実技検査実施校：ふじみ野(スポーツサイエンス)、芸術総合(舞台芸術)など体育・芸術系の学科

④傾斜配点実施校と教科名：和光国際や南稜などの外国語科の英語、大宮などの理数科の数学・理科が傾斜配点です。※傾斜配点は、100点満点の所が200点満点となります。

☆埼玉県内と都内の私立高校の入試では、例年1月22日からの推薦入試を行い、大多数の生徒がこの推薦入試を受験しています。埼玉県内私立高校では、一般入試を受験する生徒が減少しているため、推薦入試と同時期に実施する高校があります。私立高校の推薦入試は、学校推薦と自己推薦の二通りがあります。多数の私立高校では、1学期の成績が出た夏休み以降に学校説明会及び個別入試相談が実施され、相談上で受験の方法等が決まります。学校推薦に関しては、校内で会議を経て決定していきます。また、県内の私立高校では、併願の手続き延納金が必要な学校があります。

☆3年生対象の埼玉県南部地区校長会主催の学力検査が、3回(8月・10月・1月)実施されます。